

腰椎椎間板ヘルニア・腰部脊柱管狭窄症の手術 を受けられる患者さんへ

患者氏名 :

さん

主治医 :

経過(病日等)	外来	入院	手術当日(手術前)	手術当日(手術後)
月日(日時)	/			/
達成目標			食事・飲水制限を守ることができる。	安静を守ることができる。
リハビリスケジュール		リハビリで手術前の感覚のテストや歩行状態、手指の動き具合を確認します。		
治療注射処置		入院時に検温(血圧、脈拍、体温測定)に伺います。 	手術前に検温に伺います。 手術室で手術着に着替え、点滴を行います。 手術前に血栓予防の弾性ストッキングをはきます。 	帰室時に検温します。 手術後、腰に管が入っています。 電解質の点滴と、抗生剤の点滴をします。 酸素、血圧計、心電図モニターを翌日まで装着します。 両足にフットポンプ(マッサージ器のようなもの)を装着します。 
内服	アレルギーと常用薬を確認します。 お薬手帳をお持ちの方はご持参下さい。 	持参された常用薬(お薬手帳)は看護師へお渡し下さい。 薬の管理は、入院時の状態をみて必要に応じ、看護師がお配りします。	中止する薬がある場合は看護師より説明します。	
検査	医師の指示により、レントゲン・心電図・採血・採尿を行います。 			採血、レントゲンがあります。 
食事		食事は病室へ配膳します。 毎食、ご飯/おかずの摂取量を確認します。 必要に応じ、食事のセッティングなど介助します。	手術の時間に合わせて、食事を提供させていただきます。 手術6時間前から食事禁止です。 手術2時間前から飲水禁止です。 	手術後、飲食の開始時間を説明します。
排泄		毎日、排便・排尿回数(前日9時～当日9時まで)を確認します。 	尿の管をいれます。(オムツを着用します) 	
活動				翌朝までベッド上安静です。 体幹をねじらないように看護師介助で体の向きがえが可能です。 横向き可能ですが、ベッドのギャッジアップは禁止です。 
清潔	入院前にジェルネイル・マニキュアは全て落として下さい。 	午前中に身体拭き用の蒸しタオルをお渡しします。 	手術前に身体拭き用の蒸しタオルで身体を拭きます。 	
患者さん及びご家族への説明 生活指導 栄養指導 服薬指導	医師より治療の説明があります。 診察後、入院支援センターにお越し下さい。 入院案内と治療計画表について説明をします。 外来にて治療計画表の説明ができなかった場合、入院時に病棟で行います。 入院書類(入院される方へ・緊急連絡先・寝具借用書)・同意書類は入院日までに記載して下さい。 煙草を吸っている方は、手術後の合併症・傷の回復などに影響を及ぼします。 最低でも手術2週間前から禁煙して下さい。		来院後、入院支援センターへお越し下さい。 入院時書類や同意書などの提出をお願いします。 スタッフから病棟案内があります。 入院診療計画書をお渡しします。 手術の必要物品を確認します。 コルセットを持参して下さい。 貴重品は、患者さんまたはご家族で管理して下さい。 	ご家族の方は手術中、病室でお待ち下さい。 手術終了後、医師より説明があります。 
	<p style="text-align: center;"> 入院中も禁煙厳守・飲酒も禁止です </p>			

注1 この計画書は、現時点で考えられるものであり、今後検査等によって変わることがあります。

注2 入院期間については現時点で予想される期間です。計画書通り、退院日の準備をお願いします。

経過(病日等)	手術後1日目	手術後2日目	手術後3~7日目	手術後8~14日目	退院日(手術後15日目)
月日(日時)	/	/	/	/	/
達成目標	回診後、コルセットを装着し、トイレまで歩くことができる。	痛みのコントロールを行いながらリハビリ(歩行)ができる。 痺れが増強することがあればすぐに看護師に報告できる。			退院できる。
リハビリスケジュール	ベッド上で行える足の運動をします。 	歩行器での歩行訓練します。	自助具(杖や歩行器)無しでの歩行を目指します。		
治療注射処置	検温に伺います。 酸素、血圧計、心電図モニターを外します。 	腰から出ている管を抜きます。 点滴終了予定です。 	病棟内1周できれば弾性ストッキング、フットポンプを外します。 	術後10日前後で傷口の確認をします。 	 
内服	内服を開始する予定です。				
検査	手術後1日目に採血があります。 	手術2日目にCTの検査をします	手術後7日目に採血があります。 手術後7日目に必要に応じて下肢血管エコーを行います。		
食事	食事は病室へ配膳しますが、食堂利用希望の方は看護師へお伝え下さい。 毎食、ご飯/おかずの摂取量を確認します。				
排泄	主治医の回診後、尿の管を抜きます。 またコルセット装着し、トイレへ行くことができます。 看護師が付き添うため必ず看護師を呼んで下さい。 	毎日、排便・排尿回数(前日9時~当日9時まで)を確認します。			
活動	主治医の回診までは、体幹をねじらないように看護師介助で体の向きがえ・横向きが可能です。 ベッドギャッジアップは10°まで(わずかに)できます。 主治医の回診後、コルセットを装着し、座ったり歩くことができます。 歩行が安定するまでは看護師が付き添います。		歩行が安定するまでは看護師が付き添います。		生活指導について看護師から説明します。 (腰部をねじる動作や屈曲する動作は腰に負担がかかるため禁止です。重い荷物を持つのもやめて下さい)
清潔	午前中に身体拭き用の蒸しタオルをお渡しします。 状態に応じて、ドライ洗髪かドライシャンプー、もしくは足湯を行います。 (歩行状況に合わせて保清の介助をします)			手術後8日目~シャワー浴可能になれば介助します。 	
患者さん及びご家族への説明 生活指導 栄養指導 服薬指導	しびれがひどくなった場合、すぐに看護師にお知らせ下さい。				退院は10時までにはお願いします。 退院日が平日の場合は会計書をお渡しします。 (休日の場合は、後日、会計費用をご連絡します) 次回受診日の説明を行います。 リストバンドを取り外します。 平日の場合、薬剤師より退院処方についての説明があります。 



入院中も禁煙厳守・飲酒も禁止です

